

☆第8回 こぶりっこミーティング☆

～帆走指示書～

1. 参加者への通告(コミュニケーション)

- a) 公式掲示板は公式HP <http://www.koburicco.site/>に掲載する。
- b) 参加者への通告はLINE オープンチャットを利用する。
LINE で「こぶりっこ M」を検索し艇名を含む名前を登録しておくこと。レース当日の連絡はLINE で行う。
スタート時間、コース変更、タイムリミットなどの通告を行う。
- c) 帆走指示書の変更は、LINE で通告する。
海上で帆走指示書を変更する場合は本部艇より海上確認時に口頭で通告される場合もある。
- d) 荒天による中止の場合は、公式HP による掲示以外に、LINE で通知する。
- e) 海上集合後においては本部艇にN/A旗(スタート前は、AP/A 旗)を掲揚するとともに、運営艇によりLINE で指示する。
ただし通知が参加艇に伝わるかどうかについてミーティング運営者は責任を持たない。
当日陸上で中止を決定する場合は、09:00までに公式HP 掲示する。

2. 出艇申告書の提出

- a) 4月26日(金)～4月27日(土)午前8:00までに **WEB 出艇申告**を行うこと。
※WEB 入力フォームは4月26日までにHP に掲載する。
- b) 艇責任者は乗員の連絡先などを把握し、レース委員会から問い合わせがあった場合は答えることができるようにしておく事。
- c) レース申し込みをしたにもかかわらず参加を取りやめる艇は、その艇の責任者が速やかに申告すること。

3. 海上確認

参加艇は10時50分までに、本部艇の後方を自艇の右舷を本部艇に見せて通過し(安全のため厳守すること。)、確認を受けなければならない。

4. ライフジャケットの着用

参加艇の全乗員は当ミーティングのために出港する時から帰港するまで法規に則ったライフジャケットを着用していなければならない。

※ウェストベルトタイプのライフジャケットは認めない。

5. 参加艇の認識

- ・こぶりっこ運営が用意した黄色フラッグ または
 - ・テープ(40 cm程度)・フラッグ(布30 cm×20 cm程度)などの黄色い目印となるものを各自用意したもの
- バックステーなどスターン付近のデッキより上方に掲揚する。

6. ミーティングの日程

- 2024年4月27日(土) ・第一レース 予告信号 10:55(全艇一斉)
- ・第二レース スタート時刻はLINE 通告
- ・第三レース 行う場合はLINE 通告
- ・14時以降のスタートは行わない

7. スピンネーカーなどの使用

- 第一レースはスピンネーカー・ジェネカー・コードゼロなどダウンウインド用のセイルの使用を禁止する。
- 第二レース以降はスピンネーカー・ジェネカー・コードゼロなどの使用を許可する。
(ダウンウインド用のセイルを使用しないことの申請をした艇にはボーナスを付与)

8. コース

スタートは小網代湾口沖～三戸浜付近に設置する。

第1マークは小網代湾口沖～三戸浜付近に設定する。

コース1 スタート→第1マーク(左にみて)→フィニッシュとする。上下コース1周となります。

コース2 スタート→第1マーク(左にみて)→リミットマーク(左に見て)→第1マーク(左にみて)→フィニッシュ。上下コース2周となります。

コース3 小網代灯標をマークの一つとして使用する。回航順などはLINE で通告する。(補助的に音声でも通告する。)

- 第1レース コース1 またはコース2 LINE 通告する
- 第2レース コース2 またはコース3 LINE 通告する。
- 第3レース コース2 またはコース3 LINE 通告する

コース1またはコース2などは風速などにより決定し、スタート前にLINEで通告する。サービスとして本部船より音声でも伝える。

- ・第1マークはスタートより風上にならない場合もある。スタートラインより大体の方向をLINE で知らせる予定。
- ・小網代灯標付近(赤白ブイ)においては漁船、遊漁船などに注意し、操業中の漁船を避けること。
- ・三戸浜沖には定置網があるので十分注意すること。(風向などの関係でコース内に定置網がかかる場合もある)

9. マーク

- リミットマーク、黄色棒状のブイを使用する。
- 第1マーク、オレンジ色三角錐ブイを使用する。
- 小網代灯標、通称赤白ブイ

10. スタート・ライン

スタート・ラインは、本部艇のオレンジ旗を掲げたポールまたはマストとリミットマークの見通し線とする。
オレンジ旗はスタートのおおむね10分前に掲揚される。
スタートラインはスタート信号後 10 分で消滅する。

11. フィニッシュ・ライン

フィニッシュ・ラインは、本部艇のブルー旗を掲げたポールまたはマストとマークの間とする。

12. スタート方法

RRS26に従ってスタートは行われる。

【参考】

予告信号(5分前)	レース旗掲揚(黄色旗)	音響信号1声
準備信号(4分前)	規定のフラッグ掲揚 (P旗、又はI旗の予定)	音響信号1声
1分信号(1分前)	規定のフラッグ降下 (P旗、又はI旗の予定)	長音1声
スタート	レース旗降下(黄色旗)	音響信号1声

★参考:I旗が掲揚された場合

I旗が掲揚され、スタート信号前の1分間に、艇体、乗員または装備のいづれでもスタート・ラインまたはそのどちらかの延長線のコース・サイドにある場合には、その艇はスタートする前に、スタート・ラインの延長線を横切り、プレスタート・サイドまで帆走しなければならない。

13. 個別のリコール

- ・個別のリコール艇があった場合、音響信号1声とともに、X旗を掲揚する。

- ・X旗はリコール艇のすべてが、スタート・ライン又はその延長線のプレ・スタート・サイドに完全に入るまで、またはスタート信号後4分後までのうち早い方まで掲げられる。

14. ゼネラル・リコール

ゼネラル・リコールの場合は、音響信号2声とともに第1代表旗を掲揚する。第1代表旗降下1分後新たな予告信号を掲げる。

15. コースの短縮

- ・コースの短縮は、回航マークにて行われる。

- ・公式運営艇にS旗を掲げ音響信号2声を発する。

- ・公式運営艇のS旗を掲げたマストまたはポールとトップ艇がまさに回航しようとするマークの間をフィニッシュ・ラインとする。

16. タイム・リミット(RRS35の変更)

第1レース :トップ艇のフィニッシュ後30分

第2レース :トップ艇のフィニッシュ後60分または15時の早い方

17. 帰着申告(厳守、代理不可)

フィニッシュをもって帰着申告とする。

- ・スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかにその艇の責任者がレース本部にLINEで連絡する。

- ・海上にて荒天のため中止の場合は帰港後速やかにLINEで報告する(安全確認のため厳守)

18. VHFの使用

運営には国際VHF71チャンネルなどを使用する。レース前後を含めて聴取することを推奨する。

- ・非常時以外は参加艇から運営艇への連絡には使用しない事。
- ・非常時のため無線機を所持する艇は可能な限り聴取する事。

19. レースの成立

トップ艇のフィニッシュをもって成立とする。1レース成立で全体の成立とする。

20. 失格に代わる罰則

航路権の違反をしたかもしれない艇は 2 回転、マークタッチに対しては1回転を直ちにレース艇から離れた所で行わなければならない。

21. 成績の算出

- 実行委員会の設定した TMF により、タイム・オン・タイム方式により修正時間を算出する。
- 修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合、TMF 値が小さい艇を上位とする。
TMF 値も同じ場合は同順位とする。
- ハンディキャップは HP 上で発表する。
- 実行委員会の決めたレーティングで算出し、基本レーティングに対し下記のボーナスを付与する。

固定ペラ	10%
ダウンウィンドセイルなし ※スピン・ジェネカー・コードゼロ等 ※第一レースは適用されない	5%
乗員 2 名以下	3%
ファーラージブ ※UV クロスがついているジブセー ル	3%
係留保管艇	2%
ダクロンメイン	3%

- 合計得点が同点の場合最後のレースの成績の上位艇を上位とする。

22. 本部艇

31feet 白ハル SHARK X の予定

23. 責任の所在

レースに出艇するか、レースを続行するかを含めて、レース参加艇の乗員および艇体の安全若しくは事故(死亡・傷害・沈没・損傷等)については、その責任は全てレース参加艇が負うものとし、主催者ならびに大会関係諸団体は、その責任を一切負わない。

24. 環境責任

ごみの処分 スピネーカーをまとめるゴム 糸はごみとみなし海上に投棄してはならない。
その他のごみは故意に投棄せず必ずハーバーまで持ち帰ること。

25. メディア、画像および音声

参加者は無償で、主催者と大会スポンサーに対し陸上・海上で撮られたレースに関する写真、録音、録画及びそれらの複製品を、その裁量で永久に作成、使用、公開する権利を自動的に与える。

陸上レース本部 設置しない

本部艇電話 :070-5589-7392

こぶりっこ連絡先:070-2684-2525